



牛深ハイヤ保存会



▲東京牛深ハイヤの会



▲市役所牛深ハイヤチーム



▲牛深ハイヤ踊りを楽しむ来場者

日本全国の祭りやうまいものが一堂に集まる「ふるさと祭り東京2014日本のまつり・故郷の味」が、1月10日から同19日まで東京ドームで開かれました。

市からは牛深ハイヤ保存会をはじめ、役所牛深ハイヤチーム、東京在住の市出身者を中心に結成された東京牛深ハイヤの会が、牛深ハイヤ踊りを披露。また、地鶏の天草大王のだして作った天草ちゃんぽんや牛深の海産物の販売のほか、横浜市のイトーヨーカドー立売場内にあるあまくさ宝島市場も出店し、特産品の販売を行いました。約40万人が来場した同祭りのようすを紹介します。

来場者も踊りを楽しむ

特設ステージでは、阿波踊りや秋田竿灯まつりなど31団体が出演し、伝統の祭りを披露。牛深ハイヤ踊りの3団体も軽快な踊りを披露し、ステージを飛び出して行った道中踊りでは、来場者もいっしょになって踊りを楽しみました。来場者は「テンポがよく、踊りも楽しい」「見ていると元気が出る」「ぜひ、天草に行ってみた」と話していました。

天草の「食」を堪能

また、会場にはご当地グルメや特産品を販売する300を超える出店コーナーが軒を連ね大盛況。市の特産品販売コーナーもにぎわいを見せていました。天草のアジの干物を購入した人は「身が厚くておいしそう」とにっこり。天草ちゃんぽんを味わった人は、「天草大王のだしがおいしかった」「本格的なちゃんぽんを初めて食べました」と話し、天草の「食」を堪能していました。



▲市の特産品販売コーナー



二江小学校



あゆみ

- 明治 5 二江村宇野の庵室（東雲寺前身野川庵）を仮校舎として教育を始める
- 37 二江尋常高等小学校と改称
- 昭和15 二江町立二江尋常高等小学校となる
- 16 二江町立二江国民学校と改称
- 30 五和町立二江小学校と改称
- 45 鉄筋2階建ての校舎が完成
- 47 体育館が完成
- 平成18 天草市立二江小学校と改称



昭和15年度卒
丸満 満人 さん
(五和町二江・86歳)

体操の思い出

校庭の鉄棒で、日が暮れるまで練習に没頭したことを思い出します。低学年で逆上がりを身に付けたことをきっかけに、高等科に進学するころには大車輪もマスターすることができた学舎でした。肋木や平均台、登り棒など、十分な設備とはいえない当時でしたが、自由・活発に使うことで、私たちを心身ともに強くたくましく育ててくれました。



昭和59年度卒
江上 直之 さん
(五和町二江・41歳)

色あせる事のない思い出

私は、現在の鉄筋校舎へ建て替える前の、木造校舎で学んだ最後の卒業生でした。29年をへた今も、当時の学校のような友人たちとのエピソードなど、そのときの空気や匂いまでも、鮮明に思い出されます。閉校はたいへんさみしいですが、新しい校舎が子どもたちにとって、たくさんの色あせない思い出を作ってくれることを、心から願っています。



6年
山下 愛華 さん
(五和町二江・12歳)

最後の卒業生として

私たちをずっと見守ってくれた二江小学校が、いよいよ閉校します。私の祖父や父も卒業生です。どんなことを見たり聞いたりしたのでしょ。142年の歴史を考えると、その重みをあらためて感じるとともに、祖父や父と同じ二江小の卒業生であることを誇りに思っています。中学校でも新しい歴史をつくっていこうという気持ちでいっぱいです。



▲地域の皆さんと学習を通じて交流



▲花いっぱい交通安全パレード



▲最後の運動会